

## 日文中訳における複文の翻訳

姚 宇 龍

Translation of Complex Sentences  
in Translating Japanese into Chinese

Yao Yulong

### はじめに

日本語の文章を正確に中国語に訳すには、通訳の手法や理論などを講じる必要があるが、その前に、まず、日本語で書かれている文章の意味を正確に理解するのが大前提である。

文章は数多くの文から構成されている。一口に文と言っても、それには短い文もあれば、長い文もある。また、文の構造から見ると、単文もあれば、複文もある。主語と述語つまり主述構造があれば、文が成り立つ。このような文は言語学上単文と定義されている。一方、主述構造が二つ以上あり、しかも従属関係又は包含関係にある文は複文と定義されている。

人は、母国語の文章を読む時、その中の文が単文かそれとも複文かをあまり意識する必要はない。というのは、単文であれ、複文であれ、それらを読むとほぼ同時にその意味が読み取れるからである。生まれてから、ずっと母国語に薫陶され、その能力がかなり身につけているのである。しかし、日本語学習者としての中国人は日本語学習歴が短いので、日本語の文を読む瞬間、すぐその意味を読み取れる能力がまだ身に付いていないのである。複文だと、なお更読み取れない。学習年数の増加につれて、長い文も複文もだんだん読み取れるようになるが、それまでは長い年月がかかる。この論文では日本語学習歴の短い人でも中級程度の能力さえあれば、複文などの難しいセンテンスの意味が正しく理解でき、正確に中国語に訳す方法を考えたいと思う。

複文は二つ以上の主述構造があり、それらの主述構造間の関わりや排列が千変万化である。しかし、その関わり方や排列の方法は文法上のルールに基づいているのである。したがって、いくら複雑な複文でも必ずその骨格としての主節があり、その主節をつたって、複文を幾つかの単文に分解することができる。

複文を正しく分解するための前提条件として基本的な構文や文法知識が必要である。例えば、日本語の品詞と文の成分、文の階層、主節と従属節などである。それらの構文と文法知識はせいぜい中級程度である。しかし、いったんそれらを身に付けたら、日本語を読む能力などが上級レベルになる。

## 一、文の構成要素／句子的構成要素

人は自分の考え、思想などを表す時、その方法は口頭にせよ、書面にせよ、一定の文法規範に基づく文やセンテンスを作らなければならない。文には二つの文法的な構成要素がある。それは品詞と文の成分である。

### 1、品詞と品詞のタイプ／詞和詞性

品詞とはすべての単語を文法上の性質によって分類したものを言う。品詞は具体的に名詞、動詞、副詞、形容詞等がある。各言語にはさまざまな品詞がある。二つの言語を比べると共通する品詞もあれば、共通しない品詞もある。共通点で言うと、例えば、日本語にも中国語（漢語）にも名詞、動詞、形容詞、副詞などがある。相違点で言うと、日本語には形容動詞、接続詞、助詞があるが、中国語にはない。一方、中国語には、前置詞があるが、日本語にはない。

語種の不同、単語詞性也有所不同。比如、日語裡面沒有介詞，但有接續詞，連體詞，助詞，形容動詞等。而漢語裡面卻沒有這類詞性的單詞。

日本語の品詞は大体次の通りである。

動詞（自動詞，他動詞）	形容詞	形容動詞	助動詞	(用言)
名詞	数詞	代名詞		(体言)
副詞				
連体詞				
接続詞				
感動詞				
助詞				

### 2、文の成分／句子成分

文の成分は、品詞が文法にしたがって文の一部を構成するものである。

文の構成要素としてそれらの具体的な品詞に帰属する単語が、文の中で果たす文法的な役目（職能）は文の成分というのである。同じ単語でも、適用する文法の違いによっては、違う成分になる。例えば、「私」、「あなた」、「彼」、「助ける」、「勉強する」、「いる」、「ある」、「今日」、「昨日」、「寒い」、「暑い」という品詞の単語は、使い方によっては、文の中で違う成分になる。

“私は 彼を 助ける。” “彼は 私を 助ける。”

代名詞	代名詞	代名詞	代名詞
主語	目的語	主語	目的語

左の文の中の「私（代名詞）」は主語であるのに対して、右の文の中の「私（代名詞）」は目的語である。上記の「彼」も同じである。同じ品詞の単語が使われているが、適用する文法が違うだけで、文の全体の意味は変わった。

日本語と中国語の主な文の成分は同じで、次の6種類がある。

句子成分是指各種屬性的詞依據語法規則在句子中充當特定的組成部分。日語和漢語一樣，主要有以下六種句子成分。

中國語	主語	謂語	賓語	定語	狀語	補語
日本語	主語	述語	目的語	連体修飾語	連用修飾語	補語

(客語)

### 1) 主語／主語

主語は文が表す事態や動きや状態等の主体となる成分である。

**主語**作為謂語所表示的動作，狀態，所體現的關係的主体，在句子中充當核心成分。這是主語的性質。主語的詞性和表現形式大致有以下幾種：

例：

- ① 李さんは大変忙しい人です。  
名詞
- ② この辺の海が汚いね。
- ③ 彼女必死に叫んでいる。  
代名詞
- ④ 私自身でさえ，まだ食べていないよ。  
短文
- ⑤ 三つなら足りない。  
数詞
- ⑥ 人の困っているのを見て助けてあげないのは冷たすぎるよ。  
代名詞
- ⑦ 彼にはできない。  
代名詞
- ⑧ 警察では，この事件を捜査している。  
名詞

### 2) 述語／謂語

述語は動きや状態や属性や関係といった語彙の意味を担い，自らに依存・従属してくる他の諸成分をまとめあげ文を形成する。（「日本語文法研究序説」P152）

**謂語**表達主語所作的動作，所處于的狀態，所呈現的樣子，所處與的關係，在句子中充當核心成分。

日語中謂語由用言來承擔。謂語的詞性和表現形式大致有以下幾種。

述語となれる用言は次の通りである。／可以單獨作為謂語的用言有以下幾種：

- ① **動詞**（意志動詞，無意志動詞，判斷動詞）  
意思動詞：食べる，勉強する，来る 等々  
無意志動詞：発生する，ある，いる，錆びる 等々

判断動詞：である

②形容詞（い型形容詞，な型形容詞）

い型形容詞：厚い，甘い 等々

な型形容詞：静か，愚か，和やか 等々

③判断助動詞：だ，です

3) 目的語／賓語

目的語は主語の動作の対象，内容を表す。

賓語は主語的動作所涉及の対象，内容。

賓語由名詞，数詞，代詞之類の体言加上助詞「を」構成，其後面的謂語是他動詞。

主動態 ①私はノーベル文学賞作家川端康成の作品『雪国』を読んでいます。

受動態 ②私はすりに財布を掏られた。

使役態 ③父の放蕩が母を悩ませた。

4) 連体修飾語／定語：

文の中の体言（名詞，数詞，代名詞）を修飾する

修飾句子中的体言。

連体修飾語の形式はだいたい次のようである。

例

①名詞＋の

中国のお茶

②数詞＋の

三人の誤り

③代名詞＋の

彼の従妹

④形容詞（い型形容詞）

美味しい料理

⑤形容動詞（な型形容詞）

和やかな雰囲気

⑥文（文末は用言の連体形）

大学に編入したい人

5) 連用修飾語／状語

述語及び用言が表現する事態の発生場所，時刻，原因，程度，状況条件，目的等を追加的に説明する。

對謂語以及用言所表現の事態所發生的時間，地点，原因，程度，状況，条件，目的等進行説明。状語一般由副詞，表示時間地点的名詞充當，修飾用言。

連用修飾語として使われる品詞及びその表現形式は次のようである。

例

①数詞＋に 時間状語

……7時に起きます。

②数詞

……日本酒を一口飲んだ。

……体重が2キロ増えた。

- |                  |      |                                 |
|------------------|------|---------------------------------|
| ③名詞＋に            | 時間状語 | ……6月に行きます。                      |
| ④名詞＋で            | 地点状語 | ……旅館でアルバイトする。                   |
| ⑤名詞＋で            | 原因状語 | 濃霧で高速道路が閉鎖された。                  |
| ⑥副詞              | 程度状語 | 今日はとても暑い。                       |
| ⑦形容詞（い型形容詞）的連用形  |      | ……うまく説明してください。                  |
| ⑧形容動詞（な型形容詞）的連用形 |      | ……静かにしなさい。                      |
| ⑨擬声詞・擬態詞         | 修飾謂語 | ……わざと見ない。<br>大地震で建物がコナゴナに崩れている。 |

## 6) 補語／補語

補語とは、述語の表す動きや状態や関係などの成立にとって非中心的に参画する構成要素、言い換えれば、述語が必須的に要求する要素のうち、動きや関係などの体現主として表層に実現される要素以外の要素である。（「日本語文法研究序説」p.177）

補語には大体つぎのパターンがある。

- |          |                        |
|----------|------------------------|
| ①体言＋へ    | ……これから学校へ戻ります。         |
| ②体言＋に    | ……日本人に少林寺拳法を教えます。      |
| ③体言＋と    | ロシアはアメリカと核兵器削減条約を締結した。 |
| ④体言＋から   | 私は李さんからお金を借りた。         |
| ⑤用言終止形＋と | 彼は来ないと言いました。           |
| ⑥体言＋を    | 私は毎日公園を散歩します。          |

上記の六つの主な文の成分のほかに対象語、同位語と独立語がある。

日語中除了上述6種主要句子成分外，還有:對象語，獨立語，同位語等。這些句子成分在句子中不常出現。

## 7) 対象語／対象語

例：父がこわい。

## 8) 並立語／同位語

並立語とは、後続する成分と同一の資格で結び付いていくものである。

例：私は芸文学科の漫画・アニメコースか絵画コースに編入したい。

## 9) 独立語／独立語

独立語とは、文の中心的な役割を果たす述語から遊離され、後に続く語句の先触れの存在としての成分である。

例：あなたたち、前のほうに座ってください。

## 二、文の構造／句子的結構

### 1、文の述語及び文の分類

#### 1) 文の述語

日本語では、述語となれる品詞は、「暑い」等の形容詞、「静か」等の形容動詞、「教える」等の動詞、「である」等の補助動詞である。

日本語の文は述語の品詞の種類によって、判断文、描写文、存在文、叙述文に分類され、主述構造の相互関係によって、単文と複文に分けられる。

日語中の句子可以有各種分類方法。按謂語的詞性分，句子可分為判斷句，描寫句，存在句和叙述句；按句子的修飾關係分，句子可分為單句和複句；按句子的語態分，可分為主動句，被動句，使役句和可能句。

#### 2) 述語の種類による文の分類

文の述語となる用言の種類の違いによって文が違ふ。

①判断文：由助動詞“だ”，“です”或動詞“である”結尾。

例：彼は 学生です。 これは 教科書である。

主語 述語 主語 述語

②描写文：由形容詞或形容動詞結尾。

例：今日は 涼しい。 ここは 静かだ。

主語 述語 主語 述語

③存在文：由動詞“いる”，“ある”結尾。

例：劉さんは 家にいる。 売店は二階にある。

主語 述語 主語 述語

④叙述文：文末の用言は動詞である。

例：王さんは 日本語を 勉強する。 王さんは 来る。

主語 目的語 述語 主語 述語

### 2、文の主述構造

#### 1) 単文の構造と特徴

主述構造が1個しかないのが単文の特徴である。主語と述語が一個ずつ備われば文が成り立つということから、日本語の一番簡素な文の文法構造はだいたい次のようなパターンである。

#### 主語＋述語

この主語・述語という主述構造に目的語または補語を付け加えたら次のような構文になる。

主語 賓語 謂語，(主語 目的語 述語)

主語 補語 謂語，(主語 補語 述語)

例① 私は ご飯を 食べる

主語 目的語 述語

例② 彼は 泳ぐ。 今日は 寒い。 彼女は 学生です。

主語 述語 主語 述語 主語 述語

例③ 彼は 学校に 行く。 私は 学校に いる。

主語 補語 述語 主語 補語 述語

根拠句子中的主謂結構的多少和相互關係可以把句子區分為單句和複句。

上述最簡單的句子形式或謂語結構都是單句。它的特點是只有一個主謂結構。句子中謂語結構越多，句子就越長。如果在一個句子中，雖然有兩個以上謂語，但如果主語只有一個的話，那這個句子還是個單句。這個句子再怎麼長，它也是個單句。如果一個句子中有兩個以上主謂結構（主述構造）的話，那這個句子就是複句。

次の文は全部単文である。

- ①私は日本語を勉強している。
- ②彼はアメリカに行きたがっている。
- ③私は来年日本に行って、再来年帰ってきます。

## 2) 複文の特徴

複文の一番大きな特徴は何と言っても一つの品詞や単語の代わりに一つの主述構造が文の成分となることである。つまり、複文は少なくとも二つの主述構造を有する。

## 3、文の主述構造の關係

複数の主述構造が存在することは複文の一番の特徴であるが、主述構造は連体修飾節や連用修飾節や補語節となる場合は、主節との間は主従關係、主述構造は主語節や述語節や目的語節等となる場合は、主節との間は包含關係にある。二つの主述構造は、お互いに従属關係も包含關係もない場合、並立關係にある。主述構造が連体修飾語節、連用修飾語節、補語節となる主従關係のある複文は、主述構造が主語節、述語節、目的語節となる包含關係のある複文より多い。

複句有各種類型，也有一些具體的特徵。第一，個個主謂結構之間可以構成修飾与被修飾關係。第二，也可以構成並立關係。第三，一個主謂結構充當另一個主謂結構（句子）中的某個句子成分。要斷定某個句子是單句還是複句，不是看句子的長短如何，而是看句子中是否有兩個以上主謂結構存在。複句中的第一種狀況最難。因為，這種複句構成了縱向的層次。這一章中，我們將主要分析和翻譯第一種狀況的句子。

### 1) 從屬式複文

この種の複文は、主文とそれを修飾する從屬節から構成されるという特徴を持っている。

#### ①連体從屬節

私は東京大学で勉強している留学生を大勢知っています。

#### ②連用從屬節（表示時間，假定，条件，因果，順接，逆節，讓步等）

- 1) 彼がまだ知らないうちに，速く出かけましょう。
- 2) 今すぐ出かけると，9時10分の電車に間に合う。
- 3) 日本に着いたら，すぐ電話しなさい。
- 4) 地震が発生したので，電車は止まった。
- 5) 雨も降っているし，風も強いから，今日の運動会は止めましょう。
- 6) 困難がいっぱい横たわっているけれど，やるしかない。
- 7) あなたがいくら説明しても，彼は納得しないでしょう。

3) の文の中の「着く」，「電話する」の主語が同一人物で，二つの述語が並立しているように見え，文全体の形式は單文とさほどかわらないが，「着く」のある節が「電話する」の連用修飾語（状況語）という役割を果たしているので，3) の文は複文である。





の階層があることを意味する。複文の第二階層としてのその従属節は第一階層としての主節の従属節でありながら、それ自身も従属節を持っていることから、その関係に限って主節という役目がある。つまり、階層的に言うと、複文全体に垂直的に二つの主述構造と主従関係があり、三つの階層ができた。第二階層は第一階層の従属節でありながら、第三階層の主節でもある。一つの複文の中に垂直的な主従関係が多ければ、多いほど階層が多くなり、文の構造が複雑になる。

所謂偏正（主従）複句就是指在一个句子中存在着两个或两个以上的主谓或者主谓宾结构，而且它们之间关系不是对等的关系，而是主从关系。由于主从关系的存在，使得这种句子出现了不同的层次。有一个主从修饰关系的存在，就会有两个层次。主句是第一层次，从句是第二层次。如果从句中也出现主从修饰关系，那这个从句在作为第二层次来修饰主句（第一层次）的同时，它又被它的从句所修饰，它们之间构成第二层次与第三层次的关系。所以，一个句子中垂直的（递进的）主从关系越多，层次也就越多，句子的结构也就越复杂。

次の従属式複文の例文を分析する。

第一階層の主語	第 四 階 層	第 三 階	第一階層の述語
い	イ	ド	国
ず	ラ	イ	だ
れ	ム	ツ	
の	ズ	フ	
国	フェ	ラ	
も	ル	ン	
イ	ド	ス	
ラ	ミ	ナ	
ク	ゲ	ド	
戦	ト	を	
争	「	古	
に	い	い	
反	州	州	
対	」	」	
す	と	と	
イ	呼	呼	
ラ	ぶ	ぶ	
ム	国	国	
ス	だ	だ	
ズ			
フ			
エ			
ル			
ド			
ミ			
ゲ			
ト			
「			
新			
い			
州			
」			
と			
呼			
ぶ			
ぶ			
国			
だ			

現在我们把这个複句的四个层次句子拆开后，分别可以得到下面四个小句子。

- |      |                            |
|------|----------------------------|
| 第一階層 | いずれの国も 国だ。                 |
| 第二階層 | ラムズフェルド米国防長官が（は）「新しい欧州」と呼ぶ |
| 第三階層 | ドイツ、フランスなどを「古い欧州」と揶揄した     |
| 第四階層 | イラク戦争に反対する                 |

上記複文の第一の主従関係は次のとおりである。

い ず れ の 国 も ラ ム ズ フェ ル ド 米 国 防 長 官 が 「 新 し い 欧 州 」 と 呼 ぶ 国 だ

①

②

①

②は主節①の中の「国」を修飾しているので、①の連体修飾語である。したがって、②と①は一つの主従関係を構成し、②は①の従属節なので、第二階層である。

複文の中に主従関係は一個しかないとは限らない。この例文のように二個以上の主従関係がある文の方が多い。主従関係が多ければ多いほど文の階層が多くなる。そういう場合、第二階層以下の節は主節かそれとも従属節かが相対的なものになる。つまり、ある節はその上の階層の節を修飾していると同時にその下の階層の節に修飾されているのである。その時、その上の節にとってその節は従属節であるが、その下の階層の節にとっては主節である。

この複文は正しくこのような現象を呈している。

この複文の第二の主従関係は②と③の関係である。

ド イ ツ 、 フ ラ ン ス な ど を 「 古 い 欧 州 」 と 揶 揄 し た ラ ム ズ フェ ル ド 米 国 防 長

③

官が「新しい欧州」と呼ぶ

②

連体従属節③は主節②の主語「ラムズフェルド米国防長官」を修飾しているので、③と②が一つの主従関係を構成している。したがって、③は第三階層に属する。

第三の主従関係は③と④である。

イ ラ ク 戦 争 に 反 対 す る ド イ ツ 、 フ ラ ン ス な ど を 「 古 い 欧 州 」 と 揶 揄 し た 。

④

③

④は③の中の目的語「ドイツ、フランスなど」を修飾しているので、③の連体従属節である。③は④の主節である。③と④は一つの主従関係を構成している。

この複文の階層を立体的に示すと次の通りである。

いずれの国も イラク戦争に反対する ドイツ、フランスなどを「古い欧州」

第一階層

第 三 階 層

第 四 階 層

と揶揄した ラムズフェルド米国防長官が「新しい欧州」と呼ぶ 国だ。

第一階層

第 二 階 層

層

次の包含式複文の例文を分析してみよう。

賈慶林・中国人民政治協商会議主席は三月三十一日、「連戦主席が

第 一 階 層 (主語) 時間の状況語

第 二 階 層

第 三 階 層

第 四 階 層

都合のいい時に大陸を訪問するのを歓迎する」と述べた。

第一階層 (述語)

階 層 (補語従属節)

階 層 (目的語従属節・包含式)

階 層 (目的語従属節・包含式)

更に次の例文を分析してみよう

ミサワホームホールディングスは二十五日、内外十ヶ所で保有するゴルフ場

第 一 階 層 (主節・主語) 時の状況語

第 二 階 層

第 三 階 層 (連体従属節)

の処理費用が約三百八十億円になると 発表した。

第一階層 (述語)

階 層 (補語従属節)

よほどの日本語力がないと上記の複文の意味が読み取れないのである。階層が多くて、節と節との関係が複雑に絡んでいるからである。しかし、上記の複文を幾つかの、単一の主従関係を持つ文に解体すると、それぞれの文の構造が簡素になったので、中級程度の能力のある人なら、楽に読めるはずである。そう言う場合、多重の主述構造や主従関係を持つ複文を正しく且つ要領よく解体できる能力が求められる。要するに日本語の複文の中にどれぐらいの従属節があるか、またそれらの従属節の文法的な特徴は何か、を知っておかなければならないのである。

## 2, 複文の主従関係及び六つの従属節／複句の主従關係以及六大從句

### 1) 複文の主従關係/複句の主従關係

從前面的例句中我們可以看出，複句的主從關係是指句子中的整體和部分的關係。這種主從關係往往表現為從句在整個複句中充當一個特定的句子成分。例如，充當主語，謂語，賓語，定語，狀語。由於不是一個單詞充當句子中的主語，謂語，賓語，定語，狀語，補語，而是由一個句子充當主語，謂語，賓語，定語，狀語，補語。這種情況下，充當整個句子中的某個句子成分的小句子被稱為從句。

### 2) 從属節の種類／從句の種類

在句子中以一個句子的形式充當主句的某個句子成分的是從句。句子成分有主語，謂語，賓語，定語，狀語，補語，所以在複句中構成主句的某個句子成分的從句分別有下列六種。文の主語，述語，目的語を一つの単語が充当する場合，それらの単語の成分は複文の中の主節となるが，一つの文が充当する場合，それらの文はそれぞれ主語，述語，目的語となっているにもかかわらず，主節ではなく，従属節と見なされる。というのは，複文の中で相対的に独立しているからである。

主語節	在句子中作主語
述語節	在句子中作謂語
目的語節	在句子中作賓語
連体修飾節	在句子中作定語
連用修飾節	在句子中作狀語
補語節	在句子中作補語

上述這些從句在複雜句中出現最多的是定語從句。

## 3, 從属節の文末の文法的特徴／從句句尾的語法特徵

### 1) 主語從句，賓語從句的句尾

主語從句和賓語從句的句尾一般是用言的終止形，其中包括現在時，過去時等。

### 2) 定語從句的句尾

前面例句中為什麼會有四個層次呢？因為其中有四個相對獨立的句子，而且存在着三個遞進式的主從關係。而且，這些主從關係都是通過定語從句（連体修飾節）來聯接的。

①句尾是用言（動詞，形容詞，形容動詞，助動詞）

②用言有活用變化

### 3) 狀語從句的句尾

狀語從句對主句中的謂語的狀態程度等進行說明。

狀語從句可細分為：

條件狀語從句

讓步狀語從句

時間狀語從句

假定狀語從句

比較狀語從句 等。

所以，狀語從句的句尾大致有以下集中情況：

①用言的連用形加“て”，“ても”，“たら”；

②用言的假定形加“ば”；

③用言的終止形加“と”；

- ④用言的連體形加“時”，“前”，“後”，“まで”；
- ⑤體言加“に比べ”等。
- ⑥句子+“ため”，“ために”  
等等。

4) 補語從句的句尾  
用言的終止形加“と”

5) 謂語從句的句尾  
用言的終止形

\*動詞的六種活用形態

- 未然形
- 連用形
- 連體形
- 終止形
- 假定形
- 命令形

#### 四、各種複文の特徴及び翻訳／各種複句の特徴以及翻譯

前面已經講過，複句中既有主句，又有從句，而且從句的句子成分也各不相同。從句一共有六種。從句的不同，從句所修飾的對象的不同，從舉所構成的層次的不同會使複句的表現形色千變萬化。初學者在閱讀、理解和翻譯這一類句子時會感到一定的困難。在教學上也不可能把複句的各種各樣的表現形式一一列出。雖然從句的綜合運用會產生錯綜複雜的複句，使初學者無所適從。但從句本身只有六種。如果我們着眼于這一第點，那麼，我們就可以把千變萬化，無從入手的複句簡單地歸納為六類。既：含有主語從句的複句，含有謂語從句的複句，含有賓語從句的複句，含有定語從句的複句，含有狀語從句的複句和含有補語從句的複句。下面舉一些常見的例子來進行分析與翻譯。

##### 1、主語節を有する複文の分析と翻訳／含有主語從句的複句的分析和翻譯

この種の複文の一番大きな特徴は、主節の中に主語節が含まれることである。

这种復句的特點就是在主句中，包含了一個主語從句，這個主語從句在主句里充當主語。

例①：私が選んだのは、彼です。

主語節 主節の述語

譯文：我選的是他。

例②：最も懸念されるのは、反米武装勢力の選挙妨害だ。

主語節 主節の述語

譯文：最令人擔心的 是反美武装勢力的選舉破壞活動。

例③：政府活動報告ではまず昨年一年間を回顧し政府の活動成果を列挙

主語節

するのが通例です。

主節の述語

譯文：在政府工作報告中先回顧過去的一年，列舉政府工作的成績是已往的慣例。

### 2, 述語節を有する複文（主述述語文）の分析と翻訳／含有謂語從句的複句（主謂謂語句）の分析和翻譯

這種句子的特點是主句中的謂語是由一個含有主語和謂語的從句充當的。換句話說，一個由主語和謂語組成的從句作為主句中的謂語成分，這樣的句子也叫作主謂謂語句。

例①：陳さんは背が高い。

主語 述語文（謂語句）

譯文：小陳個頭高。

例②：深夜はチケットの受け渡しができない他社に比べ、

定語從句（連體修飾節）

主語 述語文（謂語從句）

ローソンチケットはローソン店頭で二十四時間発券できる強みがある。

主語 狀語 定語從句（連體修飾節） 謂語從句

譯文：與深夜不能發售票子的其它公司相比，羅森票務公司具有能在羅森店堂內24小時售票的優勢。

### 3, 目的語節を有する複文の分析と翻訳／含有賓語從句的複句的分析和翻譯。

這種句子的特點是，句子中的賓語不是一個單詞而是一個句子。

例①：私はイギリスに留学に行くのをやめました。

主節の主語 目的語節 主節の述語

譯文：我放棄去英國留學了。（我不去英國留學了。）

例②：私たちは、連戦主席が大陸を訪問するのを歓迎します。

主節の主語 目的語節 主節の述語

譯文：我們歡迎連戰主席訪問大陸。

### 4, 連體修飾語を有する複文の分析と翻訳／含有定語從句的複句的分析和翻譯。

定語從句可以修飾主句中的主語，賓語，還可修飾狀語，補語，定語這三種句子成分中的名詞，數詞和代詞。總而言之，定語或者定語從句雖然可以修飾多種句子成分，但它們有一個共同點就是，定語或定語從句只能修飾體言——名詞，數詞和代詞。

#### 1), 主語を修飾する／定語從句修飾主語

例①：国連安全保障理事会の常任理事国入りを目指す日本、ドイツ、インド、ブラジルの4カ国

連體修飾節 主

グループは、ニューヨークで国連加盟国に対し、G4側の安保理拡大の枠組み案を

語 述語 主節の目的語

正式に提出した。

主節の述語

譯文：爭取加入聯合國安全理事會常任理事國的日本，德國，印度，巴西四國集團在紐約向聯合國各會員國正式提出了四國集團的安理會席位增加框架方案。

例②：ロシアでは、大統領の政敵が経営していた大手資源会社のユコスが 3兆円近くを 追徴  
連 体 修 飾 節 主節の主語 主節の目的語 主節の  
 された。  
述語

譯文：在俄羅斯，總統的政敵經營的大型能源企業尤科斯 被迫繳 近三萬億日圓。

2) , 目的語を修飾する／定語從句修飾賓語

例：私は彼が作ってくれた餃子を食べた。

主語 連体修飾節 目的語 述語

譯文：我吃了他給我包的餃子。

3) , 連用修飾語 (狀況語) の中の体言を修飾する／定語從句修飾狀語中的體言

例①：ロバート国連事務次長補は 四月一日午後、東京都内で 日本經濟新聞記者と会見し、  
主節の主語 主節の述語(1)

国連改革の焦点である安全保障理事会の 常任理事国枠拡大問題で新案を提示した。

連 体 修 飾 節 連 用 修 飾 語 目的語 主節の述語(2)

譯文：聯合國秘書長助理羅勃特 四月一日下午 在東京都內 會見了 日本經濟新聞社記者，就 作  
 爲聯合國改革核心問題的 安全理事會常任理事國的 席位增加問題 提出了 新的方案。

例②：国土交通省は 舞奈川県で 昨年九月の自動車火災が起きた際に三菱ふそうトラック・バス  
主節の主語 連 体 修 飾 節 狀況語  
 社に 詳しい 報告を 求めた。

主節の目的語 主節の述語

譯文：當去年九月在神奈川發生汽車火災後，國土交通省曾要求三菱扶桑卡車客車公司提交報告。

4) , 補語節の中の体言を修飾する／定語從句修飾補語中的體言 (名詞等)

例：田中さんは明日、おじいさんが嘗て留学していた都市に 行く。

主節の主語 (連 体 修 飾 節) 定語從句 補語 (述語) 謂語

譯文：田中明日要到他爺爺曾留学過的都市去。

5) , 連体修飾語の体言を修飾する／定語從句修飾定語中的體言 (名詞等)

例①：私たちは、イギリスに留学に行く学生たちの保護者を集めて説明会を行うつもりです。

主語 連 体 修 飾 節 連体修飾語 主節の述語

譯文：我們打算招集將去英國留學的學生的家長開個說明會。

5) , 連用修飾節を有する複文分析の翻訳／含有狀語從句的複句的分析和翻譯。

例：地震が発生したため、新幹線が自動的に停まった。

連用修飾節(原因) 主節の主語 主節の述語

譯文：由于發生了地震，新幹線自動停車了。

6. 補語從屬節を有する複文の分析と翻訳／含有補語從句的複句的分析和翻譯。

補語從句一般是句子加“のに”加動詞，或着是句子加“と”再加上表示思想，說話等動詞。

例①：札幌市の男性（54）は、運転中、隣の車の運転手がカーナビでテレビを見ながら走って

いるのに気づきました。

譯文：札幌的一名54歲男子 在駕車時發現 他旁邊那輛車的司機在一邊看着汽車導航屏幕上的電

視節目一邊開車。

例②：明日は雨が降るだろうねと、子供たちが不安そうに言った。

譯文：明日会下雨吧，孩子們像是有点不安地說道。

例③：先生は、再来週試験がありますと、言いました。

譯文：老师说下星期有考试。

五、複文の原始的翻譯法／複句的原始翻译法

複句的原始翻譯就是先把複句按照它的主從關係解體為若干個短句，把各個短句的意思翻譯出來後，再按照原文的語法關係（主從關係），把各個短句的譯文組成一個完整的句子。

由於這種譯法是死扣原文的語法關係進行翻譯的，所以譯文的翻譯腔很濃，而且譯文的表達形式很可能不符合譯文的語法要求，要在不改變原文意思的基礎上對譯文的表達形式進行加工修改和潤色。

原始的翻譯法には、括弧法と代入法等がある。どの方法で訳してもまず原文の複文の中のすべての主述構造を主從關係に基づいて階層分けする。そして第二階層以下のそれぞれの階層にアルファベットを付ける。

いずれの国も イラク戦争に反対する ドイツ、フランスなどを「古い欧州」と揶揄した ラム  
 第一階層・主節の主語      第 四 階 層 (C)      第 三 階 層 (B)  
ズフェルト米国防長官が「新しい欧州」と呼ぶ 国だ。  
 第 二 階 層 (A)      第一階層・主節の述語

続いて、階層ごとに分解した単文を中国語に訳す。それらの単文の翻訳は、初級や中級程度の日本語能力のある人なら誰でもできる。

現在我們來把從前面的複句的例句中拆解開出來的四個小句子分別的翻譯一下。

訳文は次のようである。

第一階層の訳文：哪個國家都是 國家。

第二階層の訳文：美國國防部長拉姆茲菲爾德稱之為「新歐洲」。

A

第三階層の訳文：把法國，德國等國家嘲諷為「舊歐洲」。

B

第四階層の訳文：反對伊拉克戰爭。

C

この次は原文の修飾関係に基づいて逐一代入する。

接下來我們用代入法把牠們聯成一個句子。有兩種方法。既先用符號依次代替各個從句，使其成爲一句含有符號的整句。然後再把各個短句對號入座，使其成爲一句完整的譯文。

哪個國家都是A的國家

哪個國家都是B的美國國防部長拉姆茲菲爾稱之「新歐洲」的國家。

A

哪個國家都是把C的德國，法國等國家嘲諷爲「舊歐洲」的美國國防部長拉姆茲菲爾德稱之爲「新

B

A

歐洲」的國家。

哪個國家都是把 反對伊拉克戰爭的德國，法國等國家嘲諷爲「舊歐洲」的美國國防部長拉姆茲

C

B

菲爾德稱之爲「新歐洲」的國家。

A

かくして、中国語訳ができあがった。

另一種方法是不用符號爾按照從句的先後層次和修飾關係，依次把各個短句聯接起來。

原文中第二層次作爲定語修飾第一層次中的（國家）一詞，所以把牠們連起來後其譯文就成爲：

哪個國家都是美國國防部長拉姆茲菲爾德稱之爲「新歐洲」的國家。

第三層次和第四層次都是作爲定語修飾相應的詞語，祇要按照原文的各個主從關係依次聯接上的話，照樣可以得到整個譯文。

### 六、総合複文の分析と翻訳／綜合複句的翻譯

これまで分析し翻訳してきた複文は、説明しやすく理解しやすいために、從属節が1種類しかない文を例にしたものが多い。しかし、私たちが実際に文章を読んだりした時に出くわす複文は、その中の主述構造間の関係や從属関係は複雑に絡んでいるのが圧倒的に多い。このような複文を総合複文と名づけてここで分析し翻訳してみよう。

在前面的第三節中，爲了講解上的方便，我們把含有從句的複句歸納爲六類。這有助於分析，理解複句的句子共性。但是，人們在寫文章的時候，講話的時候並不一定在一個複句中很機械地，千邊一律地只使用一個從句，而往往會綜合使用好幾個從句。這樣一來，句子就會變的錯綜複雜。但是，萬變不離其中，我們在分析這類複句時，同樣是尋找前面講到的六種從句。

例：英会話のクラスでアメリカ人に「ノーならノーと、もっとはっきり言いなさい。あなたがた

第一階層(主節)の補語 第 二 階

日本人のその曖昧な態度は無責任ですよ」と注意され、山下秀雄氏の『日本の言葉と心』という本

層・1(補語節)A・1 主節の述語(1) 第 二 階 層の(補語)

に、日本人が一般的にはっきりノーと言わないのは、日本語の構造と関係があるのでは、と 書い

第 三 階 層 (補語節) B 第二階層・

てあったのを思い出した。

2(目的語節)A・2 主節の述語(2)

この文は勿論複文であるが、主節の一つの主語（省略されている）に二つのお互いに並列の述語



がついている。また、この例文の第三階層の「日本人が一般的にはっきりノーと言わないのは、日本語の構造と関係があるのでは（ないか）」という補語節自身も単文ではなく、複文である。さらに細かく分解すると、「日本人が一般的にはっきりノーと言わないのは」は、この補語節の中の主語節であり、第四階層となる事が分かる。

まず細かく分解した単文を階層ごとに中国語に訳す。

第一階層（主節）の訳文：我被英語會話班的美國老師批評到～，我就想起了～

第二階層・A 1 の訳文：不是的話，就清楚地說不是。你們日本人的這種模稜兩可的態度最不負責任了。

第二階層・A 2 の訳文：在山下秀雄的「日本的詞和心」這本書中寫道…

第三階層B の訳文：日本人一般不明顯地說不會不會和日語的構造有關

Bの主語節（第四階層・C）

続いて、原文の主従関係や文法構造や階層順に基づいて、上記の短い中国語の訳文を一つの長い訳文（複文）にする。

訳文：我被英語會話班的美國老師批評道，「不是的話，就清楚地說不。你們日本人的這種模稜兩可的態度最不負責任了。」我就想起了在山下秀雄的「日本的詞和心」這本書中寫道，日本人一般不明顯地說不會不會和日語的構造有關。

主 節
A · 1 補

---

語 節
主 節
日 的 語 節 · A2
主 語 節 · C

(包含式) 日本語は補語、中国語は目的語・B

かくして、中国語訳ができあがった。但し、これはあくまでも原文（日本語の）文法に辿りながら、原始的且つ機械的に中国語に訳したのである。したがって、このできあがった訳文を最終的に中国語らしく仕上げる必要がある。

## おわりに

これまでの論述でつぎのような結論が出せる。複文は複雑で、しかもその中の主述構造間の主従関係は千変万化であるが、文法的なルールに基づいて成り立っているのである。私たちは複雑な複文を、文法を手がかりにして、それを幾つかに分解した単文を中国語に訳し、今度はまた、原文の文法の主従関係に基づいて代入法などで幾つかの短い中国語訳を一つの複文の中国語訳にすることができる。

## 参考文献

- 複文の研究（下）仁田義雄編 くろしお出版 1995  
 概説日本語学・日本語教育清水義昭編（株）おうふう  
 日本語文法研究序説 仁田義雄 くろしお出版 1999